



平成29年11月14日

平成29年度総合震災消防訓練の実施について

～都心部における災害対応並びに報道対応力の向上を目指して～

東京消防庁では、さらなる震災対応力の強化を図るため、管下全消防署において、**全消防職員1万8千人及び消防団員2万1千人を動員**した大規模な総合震災消防訓練を実施します。

特に本年は、実動訓練のメイン会場を千代田区飯田橋三丁目付近の「アイガーデンエア」とし、**都心部における震災消防活動**や取材に駆け付けた多くの報道機関に対する、**災害現場での報道発表訓練**を実施します。

記

1 実施日時

平成29年11月18日（土）6時00分 から14時45分 まで

＊別紙の実動訓練は、9時00分から11時00分まで

2 実施場所

東京消防庁管下全域（取材可能な訓練会場については別紙参照）

3 訓練想定

「平成29年11月18日（土）6時00分に東京消防庁管内に震度5強を観測する地震が発生し、千代田区内において大規模災害が多数発生するとともに、続発する地震により甚大な被害へと拡大していく。」という想定です。

4 訓練内容

- (1) 続発する地震により拡大する災害への対応
- (2) 無圧及び無限水利等を活用した遠距離送水及び継続放水要領
- (3) 震災時における救出救助及び安全管理に配慮した活動能力の強化
- (4) 関係機関との連携要領
- (5) 災害現場における報道発表要領

問合せ先

〔 東京消防庁(代) 03-3212-2111
広報課報道係 内線 2345～2350 〕

実動訓練の概要

1 実施場所

アイガーデンエア（以下「訓練会場」という。）
千代田区飯田橋三丁目 1 3 番先（別図 1 参照）

2 参加人員

約 1 0 0 0 名（消防職員約 5 2 0 名、他参加機関約 4 8 0 名）

3 参加車両

消防部隊等約 7 5 隊（消防ヘリ 3 機、消防艇 2 艇を含む）

4 参加機関

2 1 機関（麹町・神田・丸の内消防団、東京都建設局第一建設事務所、千代田区役所、富士見地区町会連合会、警視庁麹町警察署、東京DMA T、災害時支援ボランティア、ジャパンケネルクラブ、日本救助犬協会、全国災害救助犬協会、日本レスキュー協会、東京通信病院、日本大学病院、株式会社東京菱光コンクリート、株式会社シントウ、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、東京エスオーシー株式会社、L I G H T M A N、帝京大学、学校法人専門学校東京ビジュアルアーツ、J C H O 東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校）

5 訓練内容（別図 2 ～ 7、別表参照）

- (1) 第 1 サイト（旧飯田橋保育園）
救出救助・道路啓開訓練
- (2) 第 2 サイト（J R 飯田町基地）
多数傷病者対応訓練
- (3) 第 3 サイト（アイガーデンエア広場）
指揮所・救護所・報道対応訓練
- (4) 第 4 サイト（大和ハウス東京ビル）
消防ヘリによる部隊投入及び救出訓練
- (5) 第 5 サイト（神田川及び日本橋川）
船舶による部隊投入及び延焼阻止線設定訓練
- (6) 第 6 サイト（東京通信病院）
傷病者受け入れ訓練

6 当日の報道受付・レクチャーについて

8時30分からアイガーデンエア広場の当庁テント付近において、取材についてのレクチャーを行います。また、該当者には10時15分からの「災害現場での報道発表」訓練に関するレクチャーも併せて行います。

7 取材にあたっての注意事項

- (1) 取材を希望される場合は、11月16日（木）10時00分までに広報課報道係宛へ電話でご連絡ください（電話番号 03-3212-2111）。
- (2) 取材時は、必ず自社腕章を着用してください。また、訓練会場では安全管理のため必ず自社ヘルメットを着装してください。
- (3) 駐車場のご用意はありませんのであらかじめご了承ください。

別図 1

訓練会場

第2サイト
(JR飯田町基地)
多数傷病者エリア

第4サイト
(大和ハウス東京ビル)
ヘリによる部隊投入・救出エリア

第1サイト
(旧飯田橋保育園)
救出救助・道路啓開エリア

第5サイト
(日本橋川・神田川)
船艇による部隊投入
火災対応エリア

第3サイト
(アイガーデンエア広場)
指揮所・救護所・報道エリア

第6サイト
(東京通信病院)
病院受入れエリア



第1サイト(救出救助・道路啓開訓練)

上空部分



- ドローンを活用した災害実態把握
- ・ 構造評価の情報提供
 - ・ 建物損害状況の情報提供
 - ・ 脱出不能者への呼びかけ
 - ・ サーモグラフィによる逃げ遅れの確認

4階～7階部分・屋上



家具転倒による挟まれ要救助者の救出・搬送訓練

南側空地



倒壊建物による瓦礫を想定した道路啓開訓練



倒壊建物を想定した救出救助訓練

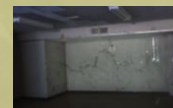
3階部分



- 建物からの救出救助訓練
- ・ 閉鎖空間における救出救助訓練
 - ・ 一か所吊り担架水平救出等の基本的救出訓練

関係協力機関

L I G H T M A N (ライトマン)



プロジェクションマッピングを活用した倒壊イメージの投影

第2サイト

(多数傷病者対応訓練)

JR飯田町基地敷地部分

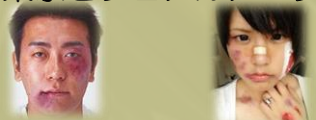


多数傷者対応訓練

- ・スタート法訓練
- ・外傷（特殊メイク）による重症所見判断
- ・消防力劣勢の中での対応要領

関係協力機関

東京ビジュアルアーツ



特殊メイクを活用した外傷の施術

上空部分



ドローンを活用した災害実態把握

- ・被害状況の把握
- ・情報通信工作車と連携した作戦室への映像配信
- ・指揮本部への情報提供



大和ハウス工業
(株) 東京本社

拡大イメージ



第3サイト(指揮所・救護所・報道対応訓練)

報道対応訓練
10:15~



アイガーデンエア広場

指揮所・救護所・報道対応

- ・ 災害実態における指揮統制の判断
- ・ 早期必要部隊の要請及び初期段階での署隊本部との連携要領
- ・ 警防本部に対する具体的な情報伝達
- ・ 活動部隊に対する的確な下命要領
- ・ 災害現場用シールドの有効活用
- ・ 報道機関に対する、広報課と連携した報道発表要領
- ・ 報道対応訓練

アイガーデンテラス

馬肉
飯田

第4サイト(消防ヘリによる部隊投入及び救出訓練)

大和ハウス東京ビル 屋上部分



- ・ダウンウォッシュを考慮した确实かつ迅速な部隊投入
- ・状況に応じた部隊の投入方法の選定
- ・重症者に対するホイスト救出要領
- ・作戦室への情報配信



第5サイト(部隊投入及び延焼阻止線設定訓練)

部隊投入訓練 (日本橋川・神田川)



新三崎橋
防災船着場



神田川
(和泉橋防災船着場)



日本橋川
(庁舎前防災船着場)

東京消防庁
消防艇 2艇 (はまかぜ・きよす)

東京都建設局第一建設事務所
保有船 1隻 (つきじ)



延焼阻止線設定訓練 (日本橋川)



2丁目
Google

(株)日建設
キビルチンク

第6サイト(傷病者受け入れ訓練)



走行距離 約1.0km



アイガーデンエア

東京通信病院



- ・消防部隊との連携強化
- ・区保健所との情報共有



別表

